

1 学校教育目標

2 研究主題

夢に向かって 自ら考え チャレンジする子どもの育成



屋島未来フロンランナーへの道に挑む子ども

—協同的に語り合い創造することを通して、主体的に学び続ける子どもを育てる—

3 研究の具体

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現をめざした「授業研究」

昨年度まで研究してきた生活科・総合的な学習における「語り合い」を基盤とし、他教科でも主体的・対話的で深い学びが実現できるよう授業づくりを行った。本年度は自分の思いや考えを見える化することや、小単元や1時間を通して育てたい資質・能力を意識して授業を行うことを大切に、ねらいに迫った。

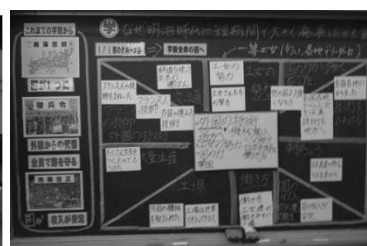


●1年 生活科

「ぐんぐん！アサガオと1年生  
～アサガオ絵本をつくろう～」

●6年 社会科

「明治の国づくりを進めた人々」



〈育てたい資質・能力〉観察力、知的好奇心

〈育てたい資質・能力〉自己調整力、論理的思考力・批判的思考力、生き方を学ぶ

(2) 本校の課題を踏まえて取り組む「学校課題3部会」

支え合う子

豊かな感性を育てる

●自己調整力の育成

子どもたちが企画・運営する「学級タイム」の実施

●感受性の育成

他学年との交流を目的とした昼休みの集会活動の実践

〈育てたい資質・能力〉創造力、発想力、自己調整力、コミュニケーション力、観察力、音楽美術等への関心

学び合う子

自分の将来に夢を描く力を育てる

●主体的・対話的で深い学びを創る

・「なぜ？もっと知りたい」からスタートする学習の推進  
・自分で学びの過程を振り返ることのできるノートづくり  
・自分の考えを深める対話学習

●夢が広がる学習の推進

講演会や地域のゲストティーチャーとの関わり等生き方を知る場の設定

〈育てたい資質・能力〉知的好奇心、自己調整力、文化の創造、論理的・批判的思考力、協働計画力、人間関係調整力、社会参画力、伝統文化の尊重、生き方を学ぶ

きたえ合う子

将来使える基礎・基本となる力を育てる

●基礎・基本の学力・体力の育成

伸びを実感できる指導方法の提案

●主体性を育む学習の推進

自発的・継続的に学びに向かう児童を育成する自主勉強の推進

●思考操作力・表現力の育成

思考ツールシートの作成・活用

〈育てたい資質・能力〉持続力、自己効力感、健康保持増進、学び続ける力

4 研究の検証及び改善の手立て

学校課題から育てたい資質・能力を設定したことで、教科領域の枠を超えて全教職員で学校教育目標の具現化をめざすことができた。また、定期的に3部会の取組を振り返る時間を確保することで学校の実態に応じた改善を図ることができた。今後は日々の授業の中でどのように実践していくか、各教科の「見方・考え方」をどう働かせていくかといった視点で研究を進めていく必要がある。3部会の取組では部会同士の連携を密にすることで、子どもたちの力につなげていきたい。